


令和5年度 総合政策部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総合政策部長 岡崎 清吾	<p>●使命 総合政策部は、企画・政策を総合調整する部として、市民の幸福度を高めるため、高度化・多様化する行政ニーズを集約し、共有しながら、課題を市政に反映します。</p> <p>また、持続可能な地域づくりに向けて、市民と行政との双方向による情報と意識の共有化を進め、市民満足度の向上に努めます。</p> <p>●基本方針</p> <p>①透明で開かれた市役所を目指して、市民目線での市政情報の広報に取り組みます。</p> <p>②定住促進策など「地方創生」関連施策を推進します。</p> <p>③市民活動のための支援策を調査研究し、協働のまちづくりを推進します。</p> <p>④適正な土地の利用を確保しつつ、本市の区域における土地の均衡ある発展のための計画的な土地利用を推進します。</p>	所管課	秘書広報課、企画振興課		
		人 員	正職員	会計年度任用職員	合計
			12人	9人	21人
		一般会計	1,710,195 千円		
		特別会計	16,168 千円		
		計	1,726,363 千円		
(うち人件費)	(98,581 千円)				

重点項目	内容	成果目標	進捗状況 (1月末)
1	ふるさと納税（応援寄付金）制度の推進	<p>・歳入確保と市のイメージアップのため、寄附者との関係維持やお礼の品の開発・拡充に取り組みます。</p> <p>目標：予算額の8億円以上（特設サイト分含む）</p> <p>新規返礼品：100品以上</p> <p>・効果的な返礼品のプロモーションに取り組みます。</p>	<p>1月末時点の寄附実績は個人版ふるさと納税が44,106件、941,760,675円、企業版ふるさと納税が22件、31,896,600円です。</p> <p>新規返礼品は240品登録済みです。</p> <p>返礼品の撮影・文字入れを20品実施しサイト掲載画像の差し替えを行いました。</p>

重点項目		内容	成果目標	進捗状況（1月末）
2	広報等による市内外への情報発信とシティプロモーションの推進	・市外に向けて市の魅力や取組等を広く発信します。	・情報誌を年4回発行することにより市のファンを獲得し、関係を継続します。 ファンクラブ会員目標数：2,500人	・1月末時点のファンクラブ会員数は、2,397人となっています。
		・「広報せとうち」特集ページで重点施策を分かりやすく伝え、市政への関心を高めるよう努めます。	・8月号、11月号、2月号で重点施策の特集を掲載します。	・9月号で6月定例会の重点施策の特集を掲載しました。
		・効果的かつタイムリーな広聴・広報により市内外への正確で迅速な市政情報の提供に努めます	・Twitter、LINEやYoutube等のSNSを活用し、市の情報を発信します。 発信回数：20本以上(月間) 友達登録：10,000人以上	・月平均の発信回数は14回のため、さらに情報を発信するように努めます。 ・SNSのフォロワー数、友達登録数等は1月末時点で計17,201人です。
3	国内・国際交流事業の推進	・友好都市との連携による国際交流を契機に瀬戸内市内へのインバウンドの増加に努めます。	・国際交流フェスタに密陽市、釜山市等訪問団を招待します。	・11月5日の国際交流フェスタ実施に合わせて、同実行委員会と連携し、密陽市、釜山文化財団、長崎県対馬市等から来賓の受入を行いました。
		・国際交流員の活動による国内・国際交流の推進に努めます。	・国際交流推進協議会や関連他市との連携による外国人への地域の魅力情報の発信や、市内在住外国人の生活を支えるための取り組みを行う。	・フランス人が勤務する県内4市町の連携により、それぞれの地域の魅力をフランスに発信するため、在日フランスメディアを招き11月に4泊5日のツアーを実施しました。各地の魅力を様々な媒体で海外に向けて発信しました。 ・正しいごみの分別方法を外国人に伝える動画を環境部と協力して作成しました。今後、活用に向けた準備を進めます。

重点項目		内容	成果目標	進捗状況（1月末）
4	地方創生の推進	<ul style="list-style-type: none"> 第2期総合戦略の検証結果を踏まえ、次期総合戦略を策定します。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案し、第2期総合戦略の効果検証を行ったうえで、総合戦略を改訂します。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」や他団体の動向について情報収集を行い、令和6年度の総合戦略改訂に向けた準備を行いました。
		<ul style="list-style-type: none"> 地方創生による地域活性化を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 移住交流促進協議会と連携し、移住者の増加やリモートワークを推進する企業等の誘致を図ります。 相談会からの移住件数：5組 相談会での相談件数：100件以上 会員制度登録事業者数：20件 市内でリモートワーク体験をした事業者数：20件 	<ul style="list-style-type: none"> 移住相談会7回（大阪2回、東京2回、ナイター3回）への出展で、109件の相談に対応し、8件の現地案内を実施しました。移住者の受入は5組17人、リモートワークタウン会員制度登録事業者は3件、リモートワーク体験を行った事業者は1件となっています。
5	市民協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体を支援することにより、協働のまちづくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税制度を活用した市民活動団体支援制度の規定を整備します。 	<ul style="list-style-type: none"> 12月22日に制度説明会を開催し、1月1日に瀬戸内市ふるさと団体応援寄附金交付要綱を施行しました。 1月から当該制度の活用を希望する団体の募集を始め、1月末現在で1団体からの申請を受理しました。令和6年4月1日から当該団体について市ホームページで紹介し、寄附の募集を開始する予定です。
		<ul style="list-style-type: none"> 新設した学生等チャレンジ補助金の活用を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題の解決に取り組む学生等の団体を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 審査会において1団体が採択されました（1団体の応募）。 8月に地元の野菜を使ったカレーを提供するイベント「カレーフェスティバル」を、11月に農作物の収穫体験イベントを実施しました。 イベント前にサポート面談、イベント後に反省会を開催するなど団体の支援を行いました。

重点項目		内容	成果目標	進捗状況（1月末）
6	持続可能な地域コミュニティづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 新しい自治組織づくりに取り組む地域を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい自治組織づくりに取り組む地域に対し、地域の要望に応じた支援を行います。 支援団体数：3団体	<ul style="list-style-type: none"> 小学校区単位の地域自治組織の存在しない地区（国府・長船地区）において、現況の聞き取りを行いました。また、12月に国府地区において、地区内で活動する団体の代表者を集めて協議を行いました。
7	持続的な公共交通網の維持	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通計画に基づき、新たな公共交通不便地域が生じないよう公共交通網の維持に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 市営バス事業において、市民のニーズや意見を反映させつつ利用環境の更なる改善に取り組み、利用者数の増加を目指します。 目標：全8路線における1か月当たりの平均利用者数 R4（10～3月）実績：約8,200人/月 →R5目標：9,800人/月	<ul style="list-style-type: none"> 1月末現在の、全8路線における1か月当たりの平均利用者数は約10,700人/月で、目標を上回っています。 12月に実施した公共交通に関する市民アンケートの結果と1月に邑久高校の生徒及び保護者を対象として実施した通学時の公共交通利用に関するアンケート結果の集計・分析を行っています。結果は、次年度の市営バスのダイヤ改正等に反映させ、利用環境の更なる改善に取り組みます。
8	計画的かつ調和のとれた土地利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画の導入に向け、岡山県や関係機関と協議しながら、都市計画区域検討のための基礎調査や課題整理を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎調査等を通じて都市計画区域の指定範囲を検討し、市としての方向性を決定します。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年10月に、庁内に都市計画マスタープラン策定委員会を設置し、令和6年1月末までに市の将来都市像や地域別構想を検討する会議を7回開催して都市計画マスタープランや都市計画区域検討の土台となる資料整理を行いました。 令和5年11月に瀬戸内市都市計画審議会を設置し、令和6年1月までに2回開催しました。審議会では、都市計画マスタープランの策定方針や基礎調査結果の報告等を行っています。 岡山県と協議しながら、令和5年12月から都市計画区域の範囲を基礎調査の結果から検討を行っています。

重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）
8	<ul style="list-style-type: none"> 官民連携で、過疎地域のまちなかの再生・活性化（牛窓リノベーションプロジェクト）を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生拠点施設「牛窓テレモーク」を起点に、民間事業者や金融機関とも連携しながら、牛窓エリアの賑わい創出を促進します。 エリア内での創業件数：4件以上 民間のまちづくり人材や行政委員、市等で構成する官民連携組織による未来ビジョンの策定 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年の供用開始以降の拠点施設への来館者は19万人程度で、施設1階では、4月に飲食店、6月にギャラリー、9月に自然食品や地元の農産品を取扱う物販店が入居し、2階では、10月に建築設計事務所がテナント入居しています。また、エリア内では、10月にシェアハウスが開業しました。 未来ビジョンの策定について、12月に支援業者と委託契約を締結し、官民連携組織の会議やエリアの現状分析や将来像検討のためのまち歩きイベントの開催、地域の住民や関係機関、活動家へのヒアリングを行っています。
9	SDGsの推進 <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な瀬戸内市の実現に向けたローカルSDGsを実現します。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに関する普及啓発事業を行います。普及啓発イベント・研修等開催数：2回 邑久高校と連携し「瀬戸内市オリジナル SDGs カードゲーム」を活用した出前授業等を開催することで市民と一緒にSDGsを推進します。出前授業等開催数：10回 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年8月に岡山市が開催した「未来わくわく SDGs フェスタ」に岡山連携中枢都市圏として協力し、パネル展示を行いました。 令和5年7月に市職員及びゼロカーボン推進パートナー（企業や金融機関）、岡山連携中枢都市圏職員を対象としたSDGs研修を開催しました（参加人数42人）。 令和5年8月に開催された「おかやまSDGsフェア」に邑久高校と共同出展し、カードゲームの体験会を行い、SDGsの取組をPRしました（カードゲーム体験者約80人）。 企業や市民団体に対して、カードゲーム出前講座を実施しました（3回開催、参加数30人）。また、ノートルダム清心女子大学でカードゲーム体験会を開催しました。 市内2か所の小学校（3クラス）でカードゲーム出前授業を実施しました。 SDGsプラットフォームミーティングを開催し、邑久高校1年生と市に関わる様々な関係者でカードゲームの体験会及びカードゲーム更新に向けた意見交換を行いました（参加者約70人）。 出前授業等開催回数：8回